

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
最新規制適合車への転換に関する助成・優遇措置	稲沢市	最新規制適合車等への早期代替に対する補助 補助率：車両価格の10%、上限50万円 平成16年度実績 3台	平成16年度までで終了	
	大府市	最新規制適合車等早期代替促進費補助金 車両本体価格の10分の1の額を補助(上限50万円) 平成16年度実績：3台(累計12台) 52.4万円(累計163.9万円)	平成16年度までで終了	
	知立市	知立市最新規制適合車導入早期代替促進費補助 市内事業者を対象に貨物自動車、マイクロバス等の排出基準適合車への早期買替について、購入経費の10%(50万円限度)を補助。 平成16年度実績 普通貨物1台 500千円	事業終了	
	高浜市	最新規制適合車等早期代替促進費補助事業 平成14年度補助実績 3台 平成15年度補助実績 5台 平成16年度補助実績 2台 補助累計 10台 平成17年度より補助事業を廃止	廃止	
	岩倉市	最新規制適合車への転換に関する助成 早期に代替に対し車両価格の10%を補助する。(上限55万円) 平成16年度実績：0台 平成17年度より補助事業を廃止	廃止	
	豊明市	最新規制適合車等早期代替促進補助事業 平成16年度実績：1台	平成16年度に終了	
	日進市	最新規制適合車への買い替え補助事業 中小企業者等が規制を受ける自動車を最新基準適合車のトラック・バス等買い替える場合に、対象経費の1割(上限50万円)を補助。 平成16年度実績：1台	平成16年度に終了	
	東郷町	東郷町最新規制適合車等早期代替促進費補助事業 補助対象事業者が排出基準適合車の早期代替に要した自動車本体の購入経費の10%を補助(自動車1台につき55万円上限) 平成16年度実績：0台(累計1台)	廃止	
	長久手町	最新規制適合車両の買換えに補助 中小企業者等が自動車Nox・PM法の規制を受けるディーゼル車等を最新規制適合車に買い換える場合に、対象経費の10%を補助 平成17年度までの実績：累計2台	(平成16年度まで)	

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
最新規制適合車への転換に関する助成・優遇措置	大口町	中小企業等の事業者及び自動車リース事業者に対する補助 事業者が最新規制適合車等へ早期代替を行う場合、車両本体価格及び事業に必要な架装に要する費用の合計の100分の10に相当する額を補助(限度額あり) 平成16年度実績 0台	(平成16年度まで)	
	武豊町	排出基準適合車整備費補助事業 中小企業等事業者による排出基準適合車への早期買替に要する費用の内、10%を補助(限度額あり) 平成16年度実績 普通貨物自動車:1台 小型貨物自動車:1台	(該当なし)	
	幸田町	最新規制適合車等早期代替促進費補助金 ・中小企業者等に対する補助 ・自動車本体価格の10%以内で20万円限度 平成15年度実績 2台(累計2台) 平成16年度実績 0台(累計2台)	平成16年度まで	
	三好町	最新規制適合車等早期代替促進補助事業の実施 2年以上:車両購入費の10%/上限500千円 1~2年:車両購入費の5%/上限250千円 18年度実績なし	平成18年度で事業終了	
	音羽町	中小企業事業者及び自動車リース事業者が、使用期限の2年以上前に最新適合車へ買い替える場合に、対象経費の10%(上限50万円)を補助 平成16年度実績:無(0台)	平成17年度から事業取り止め	
	小坂井町	最新規制適合車等早期代替促進費補助金 平成15年度実績 1台 平成16年度実績 1台	該当なし	
	御津町	継続事業(平成16年度まで) 中小企業等の事業者が、旧年式のディーゼル貨物自動車等を自動車NOx・PM法の使用期限の2年以上早期に最新規制適合車へ買い換えることに対し、車両購入費の一部を助成 平成16年度 実績なし	なし	未定
	愛知県トラック協会	運輸事業振興助成交付金をもって基金を創設し、利子補給による長期低利の融資を推進して、最新規制適合車への代替を促進。 728台	継続実施 平成19年度予定:1,000台	未定
排出ガス規制の強化等	中部運輸局	ガソリン・ディーゼル車とも排出ガス試験法を見直すとともに、世界一厳しい排出ガス基準である新長期規制を平成17年10月から施行。 平成18年10月以降に製作される特殊自動車のうちオンロードについて排出ガス規制を強化するとともにオフロードについて排出ガス規制の適用を開始。	平成19年9月から全ての車種に対して新長期規制を実施。	継続実施
	愛知県	国に対する自動車排出ガス規制の強化の働きかけ	継続実施	継続実施
	名古屋市	国に対する自動車排出ガス規制の強化の働きかけ	継続実施	継続実施

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
超低PM排出ディーゼル車の普及促進	中部運輸局	低PM認定車の導入に対する補助 (通常ディーゼル車との差額の1/4以内) 平成16年度で終了	なし	なし
	愛知県	低PM認定車の導入に対する補助 (通常ディーゼル車との差額の1/4以内) 平成15年度実績: 83台 平成16年度実績: 188台	廃止	
	愛知県 〔再掲〕	新長期規制適合車の導入に対する補助 (通常ディーゼル車との差額の1/4以内) 平成18年度実績: 547台	廃止	
	一宮市	公用車について、順次超低PM排出ディーゼル車に転換する 平成18年度実績 低排出ガス認定車・低燃費車 &超低PM排出ディーゼル車 2台(累計10台) &超低PM排出ディーゼル車 0台(累計0台)	継続実施 平成19年度予定 低排出ガス認定車・低燃費車 &超低PM排出ディーゼル車 1台(累計11台) &超低PM排出ディーゼル車 0台(累計0台)	継続実施
	安城市	公用車について、順次超低PM排出ディーゼル車に転換する 平成18年度までの実績 超低PM排出ディーゼル車 13台(累計39台)	継続実施 平成19年度予定 超低PMディーゼル車 3台(累計42台)	継続実施 一般公用車については、原則、エコカーを導入していく。
	常滑市	公用車について、可能な限り低PM排出ディーゼル車に転換する 平成18年度実績 低PM認定車(超低排出ディーゼル車) 3台導入	継続実施	可能な限り低PM排出ディーゼル車を導入していく。
	春日町	一般公用車について、順次低公害車に転換する。 平成18年度までの実績 &超低PM排出ディーゼル車 0台(累計1台)	継続実施	継続実施 一般公用車については、原則、エコカーを導入していく。
	蟹江町	一般公用車について、順次低公害車に転換する。 平成18年度実績 超低PM排出ディーゼル車 H12基準粒子状物質85%低減車 0台(累計2台)	継続実施 平成19年度予定 なし	継続実施 一般公用車については、原則、エコカーを導入していく。
	東浦町	一般公用車について、順次低公害車に転換する。 平成18年度実績 なし	継続実施 平成19年度予定 超低PMディーゼル車 1台(累計1台)	継続実施 一般公用車については、原則、エコカーを導入していく。
	美浜町	一般公用車について、順次低公害車に転換する。	継続実施	継続実施
幸田町		超低PM排出ディーゼル車の導入 平成19年度予定 福祉バス 2台(累計3台) 老人福祉センターバス 1台	継続実施	

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
超低PM排出ディーゼル車の普及促進	日本自動車工業会	ディーゼル車メーカー各社は2003年からの新短期規制に合わせて、PMの排出量を規制レベルよりもさらに75%以上低減させた超低PM排出ディーゼル車を市場投入。	継続実施 全車新長期規制適合車に移行。	継続実施
	日本自動車工業会	一部のディーゼル車メーカーは新長期規制適合車を市場導入。	継続実施 全車新長期規制適合車に移行。	継続実施
	日本自動車工業会	ディーゼル車メーカー各社は首都圏のディーゼル車運行規制条例に対応するPM減少装置を市場投入。	継続実施	継続実施
	日本自動車工業会 (トヨタ自動車)	PMを大幅に低減できるDPR(Diesel Particulate active Reduction system)及びPMとNOxを同時に大幅に低減できるDPNR(Diesel Particulate and NOx Reduction system)を開発し、これらを装備した小型トラックを販売中。	引き続きDPR及びDPNRを装備した車両を販売(全国)。	継続実施
ディーゼル微粒子除去装置の導入促進	中部運輸局	自動車NOx・PM法の対策地域内を走行する大型ディーゼル車(バス、トラック等)にディーゼル微粒子除去装置を導入する者に対し、地方公共団体と協調して、当該装置装着費の一部を補助(補助対象費の1/4)することとし、全国で40億の予算措置を講じた。	平成16年度で終了	
	中部運輸局	DPF装着に係る補助対策費の1/4を補助	平成16年度で終了	
	愛知県	ディーゼル微粒子除去装置の導入に対する補助(導入費の1/4以内) 平成16年度実績: 242基	廃止	
	愛知県	愛知県トラック協会のディーゼル微粒子除去装置導入促進事業(会員がディーゼル微粒子除去装置を購入する際に費用を一部助成)に対し、運輸事業振興助成交付金を交付。	継続実施	継続実施
	名古屋市	PM低減装置の試行的導入 ごみ収集車: 26台(平成18年度末現在) 市バス: 11台(平成18年度末現在)	継続実施	継続実施
	岡崎市	PM低減装置の試行的導入 (平成17年度末時点で実績なし)		
	豊田市	NOx及びPM低減装置導入費補助 中小企業等の事業者が、ディーゼル使用過程車に、NOx及びPMを低減する装置を早期に装着した場合、装着費用の1/2を補助(上限50万円) 平成16年度実績: 2台 平成17年度実績: 0台	平成17年度で終了	
	愛知県トラック協会	ディーゼル車から大気中に排出される粒子状物質を減少させることを目的に、ディーゼル微粒子除去装置の装着に対する購入経費の一部助成。 140台	継続実施 平成19年度予定: 100台	未定
	愛知県バス協会	バス事業者12社がディーゼル微粒子除去装置を113台に装着。	平成17年度事業終了	
	日本自動車工業会 [再掲]	ディーゼル車メーカー各社は首都圏のディーゼル車運行規制条例に対応するPM減少装置を市場投入。	継続実施	継続実施
日本自動車工業会 (トヨタ自動車)	既販車用後付けディーゼル微粒子除去装置(酸化触媒)を開発、販売中(主に東京、埼玉、千葉、神奈川向け)。	引き続き、ディーゼル微粒子除去装置を販売。	継続実施	

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
低公害型建設機械の使用促進	中部運輸局	ガソリン・ディーゼル車とも排出ガス試験法を見直すとともに、世界一厳しい排出ガス基準である新長期規制を平成17年10月から施行。 平成18年10月以降に製作される特殊自動車のうちオンロードについて排出ガス規制を強化するとともにオフロードについて排出ガス規制の適用を開始。	継続実施	継続実施
	愛知県	排出ガス対策型建設機械の使用促進 排出ガス対策型建設機械を使用する区域を原則として県内全域に拡大した。	継続実施	継続実施
	碧南市	発注する工事の設計書の中で排出ガス対策型エンジンの使用を義務付ける。 国土交通省総合政策局が定める「排出ガス対策型建設機械指定要領」による。	継続実施	継続実施
	愛知県道路公社	工事においては、低公害型建設機械の使用に努める。	継続実施	継続実施
	名古屋高速道路公社	公社発注の建設等工事において、低公害型建設機械の使用を特記仕様書に記載し、義務付けている。	継続実施	継続実施
	中日本高速道路	排出ガス対策型建設機械の使用促進	継続実施	継続実施
粒子状物質低減技術の確立	日本自動車工業会 [再掲]	ディーゼル車メーカー各社は2003年からの新短期規制に合わせて、PMの排出量を規制レベルよりもさらに75%以上低減させた超低PM排出ディーゼル車を市場投入。	継続実施 全車新長期規制適合車に移行。	継続実施
	日本自動車工業会 [再掲]	一部のディーゼル車メーカーは新長期規制適合車を市場導入。	継続実施 全車新長期規制適合車に移行。	継続実施
	日本自動車工業会 (トヨタ自動車) [再掲]	PMを大幅に低減できるDPR(Diesel Particulate active Reduction system)及びPMとNOxを同時に大幅に低減できるDPNR(Diesel Particulate and NOx Reduction system)を開発し、これらを装備した小型トラックを販売中。	引き続きDPR及びDPNRを装備した車両を販売(全国)。	継続実施
低硫黄、軽質軽油の導入促進	名古屋市	軽質軽油の導入 ごみ収集車：179台(平成18年度末現在)	継続実施	継続実施
	春日井市	軽質軽油の使用 市バッカー車全車(ただし廃食用油再生燃料を使用している2台を除く)に軽質軽油を使用した。 廃食用油再生燃料の使用 市バッカー車2台に廃食用油再生燃料を使用した。	継続実施	継続実施
	一色町	廃食用油燃料化事業(BDF精製) BDF使用一般車輛 8台 過去からの年間生成量 約11,000㍓	BDF使用車輛1台更新 19年度予定生成量 12,000㍓	継続的に事業を実施する。

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
低硫黄、軽質軽油の導入促進	石油連盟 [再掲]	国の規制に先立ち、平成17年1月より、サルファーフリー自動車燃料(超低硫黄ガソリン・軽油)の全国供給を開始。 平成17年4月、全国の石油連盟加盟会社の系列給油所において販売されるガソリン・軽油は、概ねサルファーフリーに転換を完了。 これにより、PM、NOx等の大気環境の更なる改善と自動車燃費の向上に貢献。	継続実施	継続実施
	石油連盟 [再掲]	輸送用燃料(ガソリン及び軽油)におけるバイオマス由来燃料の利用について、経済性、安全性、大気環境への影響及び安定供給上の課題を踏まえた最適な導入方法を検討。	4月よりバイオエタノール3%を含むETBE配合ガソリンの試験販売を経済産業省の「バイオ燃料流通実証事業」として首都圏50SSで開始。	順次導入拡大を図り、22年度において、国からの要請である36万KLのバイオエタノール(原油換算21万KL)をETBE配合ガソリンとして本格導入を図る。
不正混和軽油等の使用防止	愛知県	愛知県不正軽油撲滅対策会議を設置 ・合同路上調査(黒煙検査及び軽油抜き取り調査)の実施 ・不正軽油撲滅のための広報活動等を行う。	継続実施	継続実施
	愛知県トラック協会	不正混和軽油の使用防止について広報により徹底を図った。	継続実施	継続実施
	石油連盟	愛知県県税当局を含む軽油引取税全国協議会の要請に基づき、平成16年12月、「軽油引取税脱税防止ガイドライン」を策定、石油連盟加盟各社に対し、その遵守を要請。 軽油脱税防止のための周辺油種への識別剤添加の義務化を要望。		
ディーゼル黒煙街頭検査、ディーゼル黒煙クリーンキャンペーンの実施	中部運輸局	ディーゼル車に対し、街頭検査で軽油抜き取り検査を実施し、不正軽油の使用防止を図る。 【平成18年度の実績】 燃料測定検査 検査台数 154台 基準不適合台数 3台 (ディーゼルクリーン・キャンペーンでの街頭検査を含む)	継続実施	継続実施
	中部運輸局	6月及び10月を重点期間として、使用過程ディーゼル車に対するディーゼルクリーン・キャンペーン(黒煙及び不正軽油を対象とした集中的な街頭検査、運送事業者による自社車両の自主点検及び運転者に対する急発進、急加速等を避けた無理のない運転方法の指導、自動車整備事業者による入庫車両の点検等)を実施し、ディーゼル車から排出される黒煙の低減を図る。 【平成18年度重点期間中の実績】 黒煙測定結果 検査台数 339台 基準不適合台数 0台 燃料測定結果 検査台数 111台 基準不適合台数 3台	継続実施	継続実施

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
ディーゼル黒煙街頭検査、ディーゼル黒煙クリーンキャンペーンの実施	中部運輸局	名古屋南部周辺において、黒煙を対象とした街頭検査を実施し、規制値を超える黒煙を排出する等の整備不良車に対し、必要な整備を命じるとともに、点検整備の励行などの啓発活動を行った。	継続実施	継続実施
	中部運輸局	運輸支局の迷惑黒煙相談窓口(黒煙110番)で通報を受付、使用者を指導。 【平成18年度実績】 ハガキによる使用者指導 25件	継続実施	継続実施
	中部運輸局	9月及び10月に定期点検整備推進運動を実施し、ポスター及びチラシによる広報活動と街頭検査時における定期点検の励行を指導。	継続実施	継続実施
	中部運輸局 愛知県、名古屋市	ディーゼル黒煙街頭検査、ディーゼル黒煙クリーンキャンペーン(不正軽油の取締りを含む。)に参加し、ドライバーに対し啓発活動を実施	継続実施	継続実施
	愛知県トラック協会	ディーゼル黒煙クリーンキャンペーンへの参加 使用過程ディーゼル車の黒煙対策 1.期間 平成18年 6月1日から 6月30日 平成18年10月1日から10月31日 2.実施事項 (1)事業者による自主点検の実施 自主点検項目 ・排ガス濃度の点検 ・エアクリーナーの清掃状況の確認 ・噴射ポンプの封印チェック 点検結果に基づく対応 ・不良箇所等がある場合は可能な範囲内で改善に努める (2)運転者に対する指導 ・急発進、急加速等を避けた無理の無い運転の指導、徹底	継続実施 平成19年度予定 平成19年 6月1日から 6月30日 平成19年10月1日から10月31日	継続実施
	愛知県バス協会	「ディーゼル黒煙クリーンキャンペーン」 「ディーゼル黒煙自主点検運動」を10月に実施	「ディーゼル黒煙クリーンキャンペーン」 「ディーゼル黒煙自主点検運動」を10月に実施する予定。	継続実施
	日本自動車工業会	自工会は国土交通省が主催する「ディーゼルクリーン・キャンペーン」に協賛し、ポスター・パンフレットの掲出等に協力。	継続実施 (6月に1回目、10月に2回目のキャンペーンを実施。)	継続実施
車両点検整備の励行	愛知県	車両点検整備の励行 公用車の車両点検整備を適切に実施する。	継続実施	継続実施
	新城市	朝礼終了後、全車両就業前点検を実施した(消防署)	継続実施	継続実施
	日本自動車工業会 [再掲]	自工会は国土交通省が主催する「ディーゼルクリーン・キャンペーン」に協賛し、ポスター・パンフレットの掲出等に協力。	継続実施 (6月に1回目、10月に2回目のキャンペーンを実施。)	継続実施
その他				

あいち新世紀自動車環境戦略に関する施策の実施状況一覧
 作戦No.3 交通流円滑化・交通量低減作戦

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
環状道路、バイパスの整備	中部地方整備局	<p>名古屋環状2号線の建設 計画概要 区間：名古屋市中川区富田町～名古屋市中川区富田町 約66.2km</p> <p>(1)一般部 ・国道302号 約58.6km ・県道名古屋第2環状線 約1.8km</p> <p>(2)専用部(重複部含む) 約66.2km (伊勢湾岸道路重複区間 約11.9km)</p> <p>進捗状況(平成18年度末現在) (1)一般部(暫定供用を含む) 約49.5km ・国道302号 約47.7km ・県道名古屋第2環状線 約1.8km</p> <p>(2)専用部 約41.4km (近畿自動車道名古屋線：名古屋西JCT～高針JCT区間 約29.5km) (伊勢湾岸自動車道：飛鳥IC～名古屋南IC間 約11.9km)</p> <p>東海環状自動車道の建設 計画概要 区間：豊田市琴平町～瀬戸市上半田川町 約30.5km</p> <p>進捗状況(平成18年度末現在) ・東部区間 供用 (東海環状自動車道：豊田東JCT～美濃関JCT区間 約73km)</p> <p>名岐道路の建設 計画概要 区間：清洲市朝日～一宮市緑</p> <p>(1)一般部 約9.4km (2)専用部 約8.9km</p> <p>進捗状況(平成18年度末現在) (1)一般部 約9.4km 平成18年度供用</p> <p>(2)専用部 約8.9km 平成16年度供用</p> <p>名濃道路(専用部)の建設 計画概要 区間：名古屋市北区大我麻町～小牧市大字村中 約8.2km</p> <p>進捗状況(平成18年度末現在) 平成13年度全線供用</p>	<p>継続整備 平成18年度予定 ・名古屋環状2号線の建設</p> <p>(1)一般部 東部・東南部 約12.7km 西南部(4車線化) 約5.7km</p> <p>(2)専用部 約12.7km (近畿自動車名古屋線：高針JCT～名古屋南IC区間)</p> <p>・名古屋都市圏環状道路の整備に向けた各種調査の実施</p> <p>豊田東JCTランプ(第二東名と東海環状)の建設 約1.3km</p>	継続整備

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
環状道路、バイパスの整備	中部地方整備局	<p>一般国道23号(名豊道路)の建設 計画概要 区間:豊橋市東細谷~豊明市阿野町 約73km 進捗状況(平成18年度末現在) 供用区間 知立BP:豊明IC~安城西尾IC 約16.4km 岡崎BP:安城西尾IC~幸田芦谷IC 約14.6km 豊橋BP:前芝IC~野依IC 約13.4km 豊橋東BP:七根IC~野依IC 約2.3km</p> <p>一般国道153号の建設 計画概要 区間:豊田西BP 名古屋市天白区~豊田市東新町 約13.3km 進捗状況(平成18年度末現在) 供用区間(全車4車線化完成) 名古屋市天白区~豊田市東新町 約13.3km 区間:豊田北BP 豊田市上原町~豊田市扶桑町 約2.9km 区間:足助BP 豊田市足助町足助~同市豊岡町日向 約4.0km 進捗状況(平成18年度末現在) 供用区間 豊田市足助町足助~同市同町足助 約0.4km</p> <p>一般国道155号の建設 計画概要 区間:豊田南BP 豊田市駒場町~豊田市逢妻町 約12.9km 進捗状況(平成18年度末現在) 供用区間 豊田市駒場町~豊田市美山町 約8.1km</p>	<p>継続整備</p> <p>新規事業化 区間:蒲郡BP 東三河IC~蒲郡IC 約9.1km 平成19年度整備区間(調査設計): 蒲郡BP:東三河IC~蒲郡IC 約9.1km</p> <p>継続整備</p> <p>継続整備 平成19年度整備区間(調査設計) 豊田市上原町~同市扶桑町 約2.9km 平成19年度バイパス区間供用予定 豊田市足助町狭石~同市富岡町下切 約2.5km</p> <p>継続整備 平成19年度整備区間(調査設計) 豊田市美山町~豊田市逢妻町 約4.8km</p>	<p>継続整備</p> <p>継続整備</p> <p>継続整備 平成20年度整備区間(調査設計) 豊田市上原町~豊田市扶桑町 約2.9km</p> <p>継続整備 平成20年度整備区間(調査設計) 豊田市美山町~豊田市逢妻町 約4.8km</p>
	愛知県	<p>街路事業 平成18年度事業 2箇所</p>	<p>街路事業 平成19年度事業中 3箇所</p>	<p>継続実施 箇所数未定</p>

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
環状道路、バイパスの整備	愛知県	道路改良事業 国道248号 瀬戸市 延長 約3.5km 始め53箇所 道路改築事業 県道岡崎碧南線 岡崎市 延長 約3.0km 始め117箇所 緊急地方道路整備事業 県道名古屋岡崎線 豊田市 延長 約5.1km 始め35箇所 大規模事業 県道力石名古屋線 長久手町 延長 約8.6km 始め7箇所	道路改良事業 国道248号 瀬戸市 延長 約3.5km 始め24箇所 道路改築事業 県道名古屋祖父江線 稲沢市 延長 約1.3km 始め116箇所 緊急地方道路整備事業 県道名古屋岡崎線 豊田市 延長 約5.1km 始め27箇所	平成20年度以降も環状道路・バイパスの整備を推進する。
	名古屋市	道路ネットワークの整備 豆田町線などの都市計画道路の整備	道路ネットワークの整備 豆田町線などの都市計画道路の整備	道路ネットワークの整備 継続整備
	岡崎市	バイパス道路の建設 計画概要 整備区間：牧平町～榎山町 延長 1.6km 進捗状況：供用区間 400m	継続軽微 平成19年度整備区間 区間：道路改良 L=500m(牧平町～鹿勝川町)	継続整備 平成23年全線開通予定
	豊田市	なし (H14年度末にて内環状線100%供用)	内環状線の4車線化 計画概要 区間：R301～R248(都市計画変更区間) 延長：L=2.4km	継続実施
	小牧市	都路市道・一宮春日井線の建設 計画概要 区間：北外山字大師浦～北外山川向 延長：1,460m 完成延長 L=900m	継続整備 道路構造 L=130m 大山川橋梁下部工 N=1基	継続整備 平成22年度全線開通予定
	稲沢市	市道0225線(農免道路)の整備計画 西尾張中央道(北麻績)～平和町三宅川(井之上橋) ・市道7574号線の整備 平和町須ヶ谷～井堀(三宅川)(18年度で完了)	継続実施	継続実施
	東海市	名古屋半田線バイパスの整備 計画概要 区間：名和町日向根～荒尾町山ノ神前 延長：0.683km 進捗状況：用地買収 91%	継続整備 用地買収	継続整備 平成21年度、国道302号から東海渡内特定土地区画整理まで開通予定

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
環状道路、バイパスの整備	知立市	3・25 衣浦豊田線、知立市内(西中町～八橋町、延長 4.3 km) 上部・下部全線開通	事業完了	
	一色町	バイパス道路の建設：開正池田線 概要 区間 国道 R247～町道一色東部線 延長 2 km 平成 17 年度整備区間 県道一色安城線～町道一色東部線(0.9 km) 平成 17 年度全線開通		
	中日本高速道路	高規格幹線道路、環状道路の整備 ()は進捗率 東名阪自動車道 整備区間：名古屋南～高針 延長：15.4km 開通区間：上社～高針 延長：2.7km(18) 伊勢湾岸自動車道 整備区間：豊田東 J～三重県境 延長：43.0km 開通区間：豊田東 J～三重県境 延長：43.0km(100) 東海環状自動車道 整備区間：豊田東 J～岐阜県境 延長：30.5km 開通区間：豊田東 J～岐阜県境 延長：30.5km(100) 第二東名自動車道 区間：豊田東 J～静岡県境 延長：53.0km 開通区間：なし(0)	継続整備 東名阪自動車道 継続整備中 新規開通予定区間 なし 第二東名自動車道 継続整備中 新規開通予定区間 なし	継続整備
	愛知県道路公社	知多横断道路の建設 計画概要(平成13年度から継続事業) 区間：半田市平和町～常滑市りんくう町 延長：8.5km 幅員：23.5m 事業概要：本線4車線延伸事業 平成16年度事業完了		
	愛知県道路公社	中部国際空港連絡道路の建設 計画概要(平成13年度から継続事業) 区間：中部国際空港～常滑市りんくう町 延長：2.1km 幅員：22.0m 事業概要：本線4車線新設事業 平成16年度事業完了		
	愛知県道路公社	名古屋瀬戸道路の建設 計画概要(平成14年度から継続事業) 区間：日進市岩崎町 ～愛知県長久手町大字岩作 延長：2.3km 幅員：23.5m 事業概要：本線4車線新設事業 平成16年度事業完了		

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
環状道路、バイパスの整備	名古屋高速道路公社	道路ネットワークの整備 ・1号楠線、2号東山線、3号大高線、5号万場線、11号小牧線、16号一宮線の供用 ・4号東海線、6号清須線の整備	継続実施 ・4号東海線、6号清須線(平成19年12月9日供用予定)及び2号東山線(高針JCT南渡り)、3号大高線(名古屋JCT北渡り)の整備	継続実施 ・4号東海線、2号東山線(高針JCT南渡り)及び3号大高線(名古屋JCT北渡り)の整備
	中部経済連合会	「交通ネットワーク中部21」提言の中で、中部の交通網を安全、快適なものとするために既存交通網の高度利用すなわち、利用者の利便性向上、環境負荷の軽減、ITSなど最新技術の導入、都市づくりとの整合といった観点から新しい施策を提言した。(H16.6)		
	中部経済連合会	交通分野における省エネ関連の技術開発や様々な交通機関の特性を活かしながら役割分担の最適化を行なうことで、温室効果ガスの排出を削減する方策について、運輸部門に限定した調査研究を行ない、「地球環境問題と交通体系のあり方」としてとりまとめ、公表した。(H19.2)	ITSによる地域に密着した安心・安全・豊かなまちづくりや社会インフラ整備のあり方について調査研究する。	
カーシェアリングの推進	愛知県 [再掲]	平成17年7月19日付けで構造改革特別区域法に基づく構造改革特別区域計画(計画名称:自動車環境戦略推進特区)の認定を受ける。 エコカーを用いたカーシェアリングの普及促進に向けた社会実験を実施。 実施場所:名古屋市、豊橋市 実施期間:平成18年10月~12月	カーシェアリングの普及啓発 平成19年9月7日~9日にポートメッセなごやにおいて開催された「環境にやさしいクルマの技術産業展」にカーシェアリング事業者2社とともに出展。	継続実施
	豊田市	電気自動車共同利用実験の実施 ・H12年度 3箇所12台(e-com9、1473) 個人会員100、市職員会員100 ・H13年度 3箇所12台 個人会員185、市職員会員130 4時間会員(来訪者の1回限りの利用) ・H14年度 5箇所17台(e-com17) 個人会員107、市職員会員40課581名、法人会員23法人152名、4時間会員 ・H15年度 5箇所17台(e-com17) 個人会員150、市職員会員40課581名、法人会員29法人260名、4時間会員 ・H16年度 5箇所17台(e-com17) 個人会員406名、法人会員38法人1,018名 ・H17年度 5箇所17台(e-com17) 個人会員406名、法人会員38法人1,018名 事業化の検討・調整 実験終了 ・H18年度 再開発ビルでの業務系・住居系におけるカーシェアリングの検討	再開発ビルの入居者を対象としたアンケート調査を行う中で、民間事業者による導入可能性を検討する。	本格実施(平成19年度の検討結果次第)
	長久手町			長久手中央地区にカーシェアリングを誘導する

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
カーシェアリングの推進	豊根村	マイカーによるボランティアタクシー制の導入により、高齢者のマイカー保有率を低減させ、マイカーの乗合利用を推進する。 平成16年8月1日事業開始 シルバー人材センターへ事業委託	継続実施 利用率向上のため、PRを推進	継続実施 利用率向上のため、PRを推進
ロードプライシングの実施	中部地方整備局	平成17年度 伊勢湾岸道路社会実験 国道23号の渋滞の緩和、沿道環境の改善、及び港湾物流の効率化を目的として、伊勢湾岸道路(東海IC~飛島IC間)の割引を実験的に実施し、伊勢湾岸道路への転換を促進する効果を検証する。 実験期間：平成18年2月1日~平成18年2月28日 (往復割引方式)	平成19年度愛知ブロック高速道路料金社会実験 伊勢湾岸自動車道 国道23号に並行し、名古屋港の各ふ頭間を連絡する伊勢湾岸自動車道を対象として国道23号等の沿道環境改善、渋滞緩和等の名古屋南部地域の多様な交通課題を解決するためにETC車を対象に料金割引社会実験を実施。 実験期間：平成19年8月20日~10月12日(5割引) 平成19年10月15日~(3割引) いずれも平日のみ9時~17時 対象区間：伊勢湾岸自動車道 名古屋南IC~湾岸弥富IC間	
	中部地方整備局	東名阪・名古屋高速を対象とした地域における課題解決型社会実験 東名阪 特定区間割引(名古屋IC~高針JCT) 平成16年10月15日~平成17年9月25日。 平成18年3月1日~平成18年9月30日 特定区間割引(清洲JCT~楠JCT) 平成17年4月29日~平成17年9月25日 平成18年5月16日~平成19年3月31日 名古屋高速 特定区間割引(黒川~楠、春岡~高針、烏森~名古屋西JCT又は千音寺) 平成16年10月15日~平成17年9月25日 平成18年2月より本施策へ切替 夜間割引(全線) 平成16年10月14日~平成18年10月31日 平成18年11月より本施策へ切替	東名阪・名古屋高速を対象とした地域における課題解決型社会実験 東名阪 特定区間割引(清洲JCT~楠JCT) 平成19年4月1日~名古屋高速6号清須線開通の前日まで	
	名古屋高速道路公社	新たなETC料金割引を実施。(H18.2.1~) ・ETCマイレージサービス キャンペーンで基本ポイント+3ポイント(H18.2.1~H19.1.31) ・名古屋ETCコーポレートカード割引 キャンペーンで+3%割引(H18.2.1~H19.1.31)	継続実施 ・キャンペーン延長：基本ポイント+3ポイント(H18.2.1~H19.7.31) ・キャンペーン延長：+3%割引(H18.2.1~H19.7.31)	継続実施予定

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
ロードプライシングの実施	名古屋高速道路公社	新たなETC料金割引を実施。(H18.2.1~) ・ETC 端末特定区間割引 ・ETC 日曜・祝日割引 キャンペーンで土曜日割引(H18.2.1~H19.1.31) ・ETC 夜間割引(H18.11.1~)	継続実施 ・清須線供用開始に併せ新たな ETC 端末特定区間割引の導入を図る。 ・キャンペーン延長：土曜日割引(H18.2.1~H19.7.31)	継続実施予定
	名古屋高速道路公社	ETC 迂回乗り継ぎを実施。(H17.2.11~)() ETC ご利用のお客様が ETC 無線通行により、吹上東出入口を利用して都心環状線の渋滞区間を迂回できるようにした。	継続実施予定	継続実施予定
	名古屋高速道路公社	特定区間割引を実施。(H15.3.29~) 11号小牧線 楠 JCT 豊山南出入口 堀の内入口 小牧 I C (普通車 350 円 200 円 大型車 700 円 400 円)	継続実施予定	継続実施予定
自動車利用の抑制・平準化	中部運輸局	桃花台新交通ピーチライナーの利便性向上を図りマイカーから公共交通への利用転換実証実験を実施し補助対象費の1/3を補助。 ・ピーチライナー利用客専用の駐車場の設置 ・レンタサイクルサービスの拡充 ・買い物割引し符の導入	平成16年度で終了	
	名古屋市	毎月8日の「環境保全の日」に、公用車の使用抑制を実施	継続実施	継続実施
	豊田市	・道路交通情報システム高度化実験(H11年度) 駐車場総合案内板での所要時間情報の提供により、市街地の通過交通を迂回分散させ、一定の効果を得た。 ・H17年度は、駐車場総合案内板(5基)による都心部駐車場(15箇所)全体の満空情報と所要時間情報の提供を継続した。 ・H18年度に対象駐車場を2箇所追加し、17箇所とした。	駐車場総合案内板(5基)による都心部駐車場(17箇所)全体の満空情報と所要時間情報の提供を継続	情報提供の継続実施
	犬山市	自動車利用の抑制・平準化 犬山市環境市民会議委員による自家用車の駅への送迎実態等の調査・啓発事業の実施	継続実施	継続実施
	新城市	自動車利用の抑制・平準化 市役所から近距離(片道1km程度)への移動は公用自転車利用。	継続実施	継続実施
	新城市	使用目的に応じて、公用車に優先順位を付けて使用した。(消防署)	継続実施	継続使用
	日進市	ノーカーデーの実施(職員対象) 6月より原則毎月第1水曜日を通勤ノーカーデー(職員対象)とし、公共交通機関や自転車等での通勤に心がける。	継続実施 原則毎月第1水曜日を通勤ノーカーデー(職員対象)とし、公共交通機関や自転車等を使用しての通勤に心がける。	継続実施
	長久手町	大学における自動車通学抑制策の実施を積極的に働きかける。	継続実施	継続実施

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
物流施策推進アクションプログラムの推進				
積載率の向上等の徹底	中部地方整備局	<p>特車取締りスペ - スの設置 平成18年度実績はなし(下記は平成16年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道23号(下り): 大府市北崎町1箇所(累計3箇所) <p>特車通行許可違反の車両対策(走行車両重量計測システム装置に寸法計測装置を設置)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道23号(下り): 豊明市栄町 ・国道23号(下り): 名古屋市南区丹後通 ・国道1号(下り): 岡崎市山崎町 	<p>継続実施 特車取締りスペ - スの設置</p> <p>特車通行許可違反の車両対策(走行車両重量計測システムを設置予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道23号(上り): 飛鳥村付近 <p>平成19年6月20日に特車取締りを実施。その他過積載の取締り、ディーゼル車の黒煙及び不正軽油の街頭検査、エコドライブの普及促進啓発、軽油引取税に係る地方税法の周知を愛知県警、愛知県、中部運輸局と連携して実施。</p>	<p>継続実施 特車取締りスペ - スの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道23号: 飛鳥村梅之郷~三重県境間 2箇所 ・国道23号(上り) 大府市北崎町 1箇所 計3箇所(計画累計6箇所) <p>特車通行許可違反の車両対策(走行車両重量計測システムを設置)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道23号(下り): 飛鳥村梅之郷~三重県境間 1箇所 ・国道23号(上り): 大府市北崎町 1箇所 ・国道23号(上り): 名古屋市港区付近 1箇所 計3箇所(計画累計7箇所)
共同輸配送の促進	愛知県〔再掲〕	<p>グリーン配送制度の導入など、あいち新世紀自動車環境戦略に掲げる施策に積極的に取り組む事業所を「自動車エコ事業所」として認定する制度を創設 「自動車エコ事業所」の認定及びホームページによる取組の紹介 平成17年12月27日よりグリーン配送制度の導入。 平成18年度からグリーン配送制度を本格導入。</p>	継続実施	継続実施
	愛知県〔再掲〕	<p>エコカーの導入など、あいち新世紀自動車環境戦略に掲げる施策に積極的に取り組む事業所を「自動車エコ事業所」として認定する制度を創設 平成18年度までの実績: 計39事業所を認定</p>	<p>「自動車エコ事業所」の認定及びホームページによる取組の紹介 平成19年度認定事業所への要望等ヒアリング調査実施</p>	継続実施
物流拠点等の整備促進	中部運輸局	<p>「名古屋市長者町織維問屋街におけるITを活用した荷捌きシステムに関する調査検討委員会」において提案された「貨物車専用荷捌き場(ポケットローディング)」を設置し、「路上駐車を排除し物流効率化の推進を目指した実証実験」を行った。 平成16年度で終了</p>	なし	なし

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
モーダルシフトの促進	中部運輸局	<p>グリーン物流パートナーシップ普及事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーン物流パートナーシップ会議では、物流分野において、荷主企業と物流事業者が連携するCO2削減の取組の内、普及拡大される事業を募集し、積極的に推進すべきとみなされる事業を推進決定する。 ・推進決定された事業がNEDOのエネルギー使用合理化事業者支援事業に認められた場合、NEDOの補助金により省エネルギーに必要な追加的経費の内、1/3が補助される。 ・中部運輸局管内で提案された事業は5件あり、全てグリーン物流パートナーシップ会議の推進決定を受け、辞退した1件を除く4件がNEDOの支援事業の交付決定を受けた。 ・また、中部運輸局は、中部経済産業局と連携し、「中部グリーン物流パートナーシップ会議」を設置して、地方におけるグリーン物流の取り組みを推進した。 	継続実施	継続実施
立体交差事業等の推進	中部地方整備局	<p>交差点の立体化</p> <p>一般国道1号と302号交差点 かの里東交差点立体化 進捗状況(平成18年度末現在) 平成16年度暫定2車供用</p>	<p>継続実施</p> <p>完成4車供用に向け用地取得推進</p>	<p>継続実施</p> <p>完成4車供用に向け検討及び用地取得推進</p>
	愛知県	<p>単独立体交差事業等</p> <p>平成18年度事業 12箇所</p> <p>連続立体交差事業</p> <p>平成18年度事業 5箇所</p>	<p>単独立体交差事業等</p> <p>平成19年度事業中 12箇所</p> <p>連続立体交差事業</p> <p>平成19年度事業中 4箇所</p>	<p>継続実施</p> <p>箇所数未定</p>
	愛知県	<p>県道交差点における右折レーンの整備</p> <p>交差点改良事業</p> <p>平成18年度整備箇所 17箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(主)春日井稲沢線 北名古屋市井瀬木 ・(国)23号 幸田町大字桐山 等 	継続実施	継続実施

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業	
立体交差事業等の推進	愛知県	平成18年度実績 踏切除却事業 国道247号 半田市 成岩6号踏切 橋梁整備事業 国道366号 大府市 砂川延命寺川橋 始め8箇所 橋梁改築事業 県道井之口江南線 一宮市 千秋橋 始め8箇所 緊急地方道路整備事業 県道新城引佐線 新城市 野田城大橋 始め9箇所	平成19年度予定 踏切除却事業 国道247号 半田市 成岩6号踏切 始め2箇所 橋梁整備事業 国道366号 東浦町 森岡跨線橋 始め9箇所 橋梁改築事業 県道井之口江南線 一宮市 千秋橋 始め8箇所 緊急地方道路整備事業 県道半田常滑線 半田市 成岩高架橋 始め7箇所	平成20年度以降も立体交差事業等の整備を推進する。	
	名古屋市	連続立体交差事業 ・JR関西本線(黄金～庄内川) (平成18年度完了) ・近鉄名古屋線(黄金～庄内川) (平成18年度完了) ・名鉄名古屋本線(天白川～左京山)	継続実施 ・名鉄名古屋本線(天白川～左京山)		
	名古屋市	単独立体交差事業 ・名鉄常滑線と星崎鳴海線 ・名鉄瀬戸線と守山本通線 ・近鉄名古屋線と万場藤前線	継続実施 ・名鉄常滑線と星崎鳴海線 ・名鉄瀬戸線と守山本通線 ・近鉄名古屋線と万場藤前線	継続実施 ・名鉄瀬戸線と守山本通線 ・近鉄名古屋線と万場藤前線	
	犬山市	低騒音舗装及び遮音壁の設置 平成14年度 都市計画道路富岡荒井線立体交差工事			
	小牧市	名鉄小牧線立体交差事業 計画概要 延長:705m 進捗状況 平成16年度未完了			
	知立市	連続立体交差事業(鉄道高架)に伴う駅周辺 区画整理事業の実施	継続実施	継続実施	連続立体交差事業(鉄道高架) 仮線路工事着工 区画整理事業の実施

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
駐車違反車両の取締り強化、啓発の実施	愛知県警察本部	<p>1 重点指向した違法駐車取締りの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路交通の安全と円滑を阻害する悪質・危険、迷惑性の高い違反(交差点内、横断歩道等)に重点を置いた取締りの強化 ・重点地区等における取締りの強化 ・県民の取締り要望等に基づく取締り計画、迅速的確な対応及び処理結果の確認 <p>2 道路交通法の改正に伴う放置違反金制度の導入と放置車両確認事務の民間委託の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放置違反金制度の運用開始 ・名古屋市内16警察署において駐車監視員制度の導入 	<p>1 重点指向した違法駐車取締りの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路交通の安全と円滑を阻害する悪質・危険、迷惑性の高い違反(交差点内、横断歩道等)に重点を置いた取締りの強化 ・重点地区等における取締りの強化 ・県民の取締り要望等に基づく取締り計画、迅速的確な対応及び処理結果の確認 <p>2 放置違反金制度の効果的運用と放置車両確認事務の適正な運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放置違反金制度の適正且つ効果的な運用 ・尾張・三河部の7警察署において駐車監視員制度の導入 ・名古屋市内16警察署において駐車監視員の委託内容の見直し 	継続実施
	名古屋市	<p>違法駐車等防止重点地域活動</p> <p>「名古屋市違法駐車等の防止に関する条例」に基づいて、栄地区を違法駐車等防止重点地域に指定し、監視員による監視活動を実施するとともに、関係住民・団体の地域自主活動の展開による駐車マナーの向上を図る。</p>	継続実施	継続実施
	名古屋市	<p>違法駐車地域パトロール事業</p> <p>違法駐車追放気運の高い地域において住民・関係機関によるパトロールに加え、市啓発員も活用し啓発活動を重点的に行い、違法駐車を解消を図る「違法駐車地域パトロール事業」を実施する。</p>	継続実施	継続実施
	名古屋市	<p>青空駐車追放推進モデル地区活動</p> <p>(平成16年度まで)</p> <p>青空駐車の実態がひどく、追放気運の盛り上がりのみられる地区をモデル地区(各区1か所)に指定し、学区交通安全推進委員会が中心となり、区役所・所管警察署等と連携して駐車マナーパトロールを実施。</p>		
	名古屋市	<p>違法駐車等防止啓発事業(平成16年度実績:12地域)</p> <p>(平成16年度まで)</p> <p>消防車など緊急車両の通行の障害となるおそれがある住宅団地の深刻な青空駐車を解消するため、国の「緊急地域雇用創出特別交付金制度」を活用して、違法駐車等防止啓発員による啓発を行うとともに地域住民と関係行政機関の参加による青空駐車追放運動を実施。</p>		
	豊橋市	<p>市条例に基づき、豊橋駅周辺を重点地域(路線)とし、駐車指導員により違法駐車車両に対し標章の取り付け、並びに啓発チラシ・駐車場マップの配布等により啓発活動を実施(平成10年3月31日施行)</p>	継続実施	継続実施

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
駐車違反車両の取締り強化、啓発の実施	春日井市	市内における路上駐車追放の啓発を実施 実績：各季交通安全運動期間中等に実施	継続実施 予定：各季交通安全運動期間中等に実施	継続実施
	津島市	駐車違反の車両取締り強化・啓発の実施 ・町内回覧の「ちらし」による啓発 ・年末の市内全域パトロール	継続実施	継続実施
	安城市	違法駐車等監視システム 週7日間のうち5日間活動。曜日は不特定。	継続実施 週7日間のうち4日間活動。曜日は不特定。 平成19年9月まで。	継続実施 なし(警察署による違法駐車取締りの民間委託が始まるため)
	阿久比町	看板・ステッカーによる啓発の実施	継続実施	継続実施
	中部経済連合会	「安心で会的な都市環境の形成に向けて」提言の中で、違法駐車、違法駐輪対策の提言を行った。(H15.7)		
公共交通機関の整備	愛知県警察本部	公共車両優先システム(PTPS)の整備 ・県道岡崎幸田線(岡崎市内)他、合計4路線で運用。	継続実施	継続実施
	愛知県、中部国際空港連絡鉄道(株)	中部国際空港連絡鉄道の整備 区間：名鉄常滑線常滑駅～中部国際空港駅 延長：約4.2km(建設延長 約4.3km) 平成17年1月29日開業		
	愛知県、名古屋市、上飯田連絡線(株)	上飯田連絡線の整備 区間：名鉄小牧線味鋤駅～地下鉄上飯田線平安通駅 延長：約3.1km(建設延長 約3.3km) 平成15年3月27日開業		
	愛知県、名古屋市、名古屋臨海高速鉄道(株)、名古屋港管理組合	西名古屋港線(あおなみ線)の整備 区間：名古屋駅～金城ふ頭 延長：約15.2km(建設延長 約15.4km) 平成16年10月6日開業		
	名古屋市	地下鉄名城線名古屋大学・新瑞橋間の整備 (営業キロ：5.6km) 平成16年10月6日開業(名城線の環状運転開始) 地下鉄岩通線野並・徳重間の整備 (建設キロ：4.1km) 土木工事実施	継続整備	継続整備 平成22年度 開業目標
	愛知県、名古屋市、愛知高速交通(株)	東部丘陵線(リニモ)の整備 区間：名東区藤が丘～豊田市八草 延長：約8.9km(建設延長 約9.2km) 平成17年3月6日開業		
	愛知県、愛知環状鉄道(株)	愛知環状鉄道線の整備 区間：高蔵寺駅～岡崎駅 一部複線化等工事(3区間、総延長：10.1km) 平成16年度完了 愛知環状鉄道線の部分的複線化事業 区間：新豊田～三河豊田 延長：約3.6km	継続実施 愛知環状鉄道線の部分的複線化事業 区間：新豊田～三河豊田 延長：約3.6km	

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
公共交通機関の整備	豊橋市	生活路線の運行維持のための助成 路線維持費補助 地域住民の生活上必要となっているバス路線の運行維持を図るため、運行費の欠損を生じている路線に対し補助 平成18年度実績： ・広域路線(国県補助路線)：国県の補助対象外欠損額等 3路線 4,380千円 ・市内間路線：欠損額全額 10路線 18,775千円	路線維持費補助 継続実施 平成19年度予定： ・広域路線 2路線 1,574千円 ・市内間路線 9路線 35,515千円	継続実施
	岡崎市	コミュニティバス実証実験 期間：平成12年9月11日～ 11月19日までの70日間 区間：中心市街地区域内の商店街や大規模店舗等を結ぶ 1ルート(6.8km)		
	岡崎市	地域ラウンドバス実験運行 期間：平成13年12月 1日～ 平成14年 2月28日までの90日間 区間：交通空白地域と交通結節点を結ぶルート (12.4km)		
	岡崎市		まちなかにぎわいバス運行 期間：平成19年7月17日～ 区間：中心市街地及びその周辺部と市役所、中岡崎を 結ぶ2ルート 東西ルート(2.7km) 市役所～伝馬・康生～中岡崎 南北ルート(5.4km) 市役所～梅園・愛宕～松坂屋前	継続実施
	岡崎市	愛知環状鉄道の整備 (平成10年度～平成16年度) 輸送力増強整備 複線化等整備費補助金 ・岡崎～高蔵寺間の一部複線化等の事業に要する経費 に対する補助 車両購入事業費補助金 ・近代化設備として車両購入に要する経費に対する補 助 高蔵寺乗継円滑化 鉄道間乗継円滑化事業費補助金 ・高蔵寺駅における愛知環状鉄道線とJR中央線の直 通運転の施設整備等に要する経費に対する補助	平成16年度事業終了	
	岡崎市	愛知環状鉄道部分複線化事業 事業期間：平成17年度～平成19年度 ・三河豊田～新豊田間の複線化等事業	継続実施	

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
公共交通機関の整備	春日井市	愛知環状鉄道線(第3セクター)に対し新型車両等への補助を実施 実績:新豊田~三河豊田間の複線化工事に対する補助車両なし	継続実施 平成19年度予定:新豊田~三河豊田間の複線化等	継続実施
	春日井市	かすかいシティバスの運行 実績:7路線利用者計277,221人(平成18年度)	継続実施	継続実施
	津島市	公共交通機関の整備 巡回バスの運行 市内公共施設等巡回 4路線2台 4路線延長:36.8km	継続実施	継続実施
	豊田市	稲武バス運行費 市民が安全で安心して利用できる生活交通を確保する。 運行の委託料	継続実施 稲武足助線を基幹バスに位置付け、必要なサービス水準を設定し、再編(11月) 基幹バス運行費補助金事業で対応	継続実施 豊田市公共交通基本計画に基づき、公共交通ネットワークを整備していくとともに、地域主体の活動を支援していく。
	豊田市		旭地域バス運行費 市民が安全で安心して利用できる生活交通を確保するため、旭地域バスを新設 運行の委託料	継続実施 豊田市公共交通基本計画に基づき、公共交通ネットワークを整備していくとともに、地域主体の活動を支援していく。
	碧南市	コミュニティバスの運行 区間:市内一円 延長:70.1km 平成10年度に整備、運行開始	継続運行	継続運行
	碧南市、西尾市、一色町、吉良町 (ふれんどバス運行協議会)	ふれんどバス(名鉄三河線(碧南~吉良吉田)の廃線に伴う代替交通(コミュニティバスの運行)) 区間:名鉄碧南駅~吉良高校 延長:17.1km 平成16年4月1日運行開始	継続運行	継続運行
	刈谷市	コミュニティバスの運行 概要 区間:市内全域4路線 毎日運行 延長:70.4km 車両:中型バス 平成9年12月から試行運行開始 平成13年4月1日より本格運行	継続運行 延長:80.4km	継続運行
刈谷市	平成19年3月にJR東海刈谷駅と東刈谷駅との間に野田新町駅を開業。			

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
公共交通機関の整備	安城市	あんくるバス 平成12年10月1日試行運行 平成16年10月1日正式運行 平成17年8月1日北部線 路線変更営業開始 市街地線(営業距離21.0km) 高棚線(営業距離30.2km) 桜井線(営業距離24.0km) 南部線(営業距離31.5km) 北部線(営業距離20.1km) 東部線(営業距離32.2km) 西部線(営業距離30.2km)	継続実施	継続実施
	西尾市	「六万石くるりんバス運行事業」 (平成18年12月より市内を循環する公営バス二台。乗車一律100円、19席+車椅子2台)	継続実施	継続実施
	犬山市	コミュニティバスの運行 区間:犬山駅東~栗栖 他6路線 延長:74.6km 平成12年度から運行開始 平成18年度に路線等増設	継続実施	継続実施
	江南市	コミュニティタクシーの運行 平成13年度に整備・試行運行開始 平成16年10月から本格運行開始 すいとびあ・布袋ふれあい会館コース、松竹住宅コースの幹線2コース 延長11.5km	継続実施	
	江南市		デマンド型乗合タクシーの試行運行 平成19年10月から試行運行開始	
	小牧市	コミュニティバスの運行 <概要> ・7コース(平日・土日祝日同コース) ・平日は朝6時台~夜8時まで運行 ・オリジナルデザインのリフト付バス導入 ・市民病院・駅ロータリーへの乗り入れ実施 ・平成10年3月より試行運転中 ・平成17年4月、再編コーススタート	継続運行 ・H19秋に向け、コース再編の検討・準備	継続運行
	稲沢市	ふれ愛タクシー 2コース13.7kmで運行 (平成16年度まで)		
	新城市	自主運行バス 新城地区3路線~業者委託 鳳来地区3路線~業者委託 作手地区2路線~直営	継続実施	継続実施

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
公共交通機関の整備	大府市	大府市循環バスの運行 17年度から名鉄バス路線 有松線の廃止により1コース増設及びコース・時刻表見直し。(計4コース各7便/日) 18年度実績:バス利用者数 71,544人/年 平均乗車人数 8.7人/便	循環バス協議会の開催	循環バス協議会の開催
	知多市	コミュニティ交通試験運行 2路線 東部14.7km 南部15.5km 運行時間:約45分 18年度実績 27,452,270円	継続実施	継続実施
	知立市 〔再掲〕	連続立体交差事業(鉄道高架)に伴う駅周辺 区画整理事業の実施	継続実施	連続立体交差事業(鉄道高架) 仮線路工事着工 区画整理事業の実施
	尾張旭市	コミュニティタクシーの試験運行 平成16年12月開始 平日及び土曜日4ルート	継続運行 2ルートにマイクロバスを導入し、本格運行へ移行予定	継続運行
	高浜市	コミュニティバス(いきいき号)の運行 概要 運行コース 3コース 平成5年度に整備、運行開始	継続運行	継続運行
	田原市	市中心地への乗用車乗入れ抑止のため平成 平成14年7月よりコミュニティバスの運行を開始。 平成14年度 バス5台導入(NOx・PM法適合車) 平成15年度 バス2台導入(内1台はNOx・PM法適合車) 平成16年度 バス1台導入(NOx・PM法適合車)	継続実施 平成19年7月1日より路線拡大(中山・小中山線) 平成19年度:バス1台導入(NOx・PM法適合車)	継続実施
	豊明市	豊明市公共施設巡回バス「ひまわりバス」の運行 4路線運行 平成11年11月試験運行 平成13年 4月本格運行	継続実施	継続実施
	日進市	市内巡回バス(くるりんバス)の運行 7コース運行 東・西・南・北・中・東南・南西 平成18年度バス利用者数 424,693名	継続実施	継続実施
	東郷町	コミュニティバスの運行 平成12年4月3日運行開始 東コース(右回り15.2km、左回り16.6km) 西コース(右回り、左回りとも12.0km) 南コース(右回り、左回りとも11.6km) 北コース(右回り、左回りとも12.9km)	継続実施 巡回ルート・時間の見直し	継続実施 時間の見直し

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
公共交通機関の整備	長久手町	コミュニティバスの運行 平成10年度に運行開始 8路線を4台で運行 東部丘陵線の開通に伴い乗り継ぎの利便を図るため平成17年3月に再整備を実施 コミュニティバスルートの再編 バスロケーションシステムの導入検討	継続実施	継続実施
	豊山町	コミュニティバスの運行 概要 北ルート 区間 小牧市役所～豊山町内 南ルート 区間 豊山町内～名古屋市中区栄 平成14年10月から運行開始	継続運行	継続運行
	大口町	大口町巡回バスの試行運転 交通の便をよくする、排ガスを減らす、移動手段を持たない人の足として、町内を4つのルートに分け、巡回バスの試行運転をしている。	継続実施	継続実施
	東浦町	東浦町運行バス「う・ら・ら」 区間：町内全域2路線 運行距離：片道約18.0km 平成13年10月1日、1路線により運行開始 平成14年10月1日から1路線増設 計2路線により運行開始	継続実施	継続実施
	美浜町	公共交通機関の整備 巡回ミニバス事業 10人乗ミニバン2両により町内各地区より公共施設を結ぶ2路線を無料で運行。	継続実施	継続実施
	三好町	コミュニティバス(さんさんバス)の運行 区間：名鉄黒笹駅～明知下公民館 延長：21.7km 区間：名鉄黒笹駅～福田児童館 延長：21.7km	コミュニティバス(さんさんバス)の運行継続 区間：名鉄黒笹駅～明知下公民館 延長：21.7km 区間：名鉄黒笹駅～福田児童館 延長：21.7km	コミュニティバス(さんさんバス)の運行継続
	中部経済連合会 〔再掲〕	「交通ネットワーク中部21」提言の中で、中部の交通網を安全、快適なものとするために既存交通網の高度利用すなわち、利用者の利便性向上、環境負荷の軽減、ITSなど最新技術の導入、都市づくりとの整合といった観点から新しい施策を提言した。(H16.6)		
	中部経済連合会 〔再掲〕	交通分野における省エネ関連の技術開発や様々な交通機関の特性を活かしながら役割分担の最適化を行なうことで、温室効果ガスの排出を削減する方策について、運輸部門に限定した調査研究を行ない、「地球環境問題と交通体系のあり方」としてとりまとめ、公表した。(H19.2)	ITSによる地域に密着した安心・安全・豊かなまちづくりや社会インフラ整備のあり方について調査研究する。	

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
乗合バス事業者 などへの補助	中部運輸局	バスの利用向上、活性化を図るため、ノンステップバス導入やバスロケーションシステム等の施設の整備に対し、バス利用促進等総合対策事業にて補助を行なう。	名称を「自動車運送事業の安全・円滑化等総合対策事業」として継続実施。	継続実施予定
	愛知県	乗合バス事業者に対する補助 地域住民の生活に必要な乗合バス路線を維持・確保するため、広域・幹線的なバス路線の運行費の欠損額等について補助する。(国1/2, 県1/2) 平成18年度実績: 27系統	継続実施 乗合バス事業者に対する補助 平成19年度予定: 23系統	継続実施
	豊橋市	車両購入費補助 欠損を生じている市内間路線の運行に用いる低床型車両の購入に対する費用に対して、725万を限度とする45%補助を行う。 平成18年度実績: 1両 6,928千円		
	豊橋市	契約による路線バスの運行実施 港湾地域の公共交通機関の確保、沿線住民の利便性の向上のため、バス路線の運行を事業者に依頼し、その欠損額に対し補助 平成18年度実績: 9,483千円	生活路線運行維持のための助成と統合	継続実施
	豊橋市	路線バス事業のシステム整備への助成 事業者に対し、事業活性化のためのシステム整備に係る経費の10%又は12.5%を補助(国県市協調補助) 平成18年度実績: 超低床ノンステップバス4両 7,389千円	継続実施 平成19年度予定: 超低床ノンステップバス3両 6,963千円	継続実施
	半田市	地域住民の足としてバス路線を維持確保するため、乗合バス事業者へ運行経費を補助 市内4路線を対象	継続実施 市内4路線を対象	継続実施 市内4路線を対象
	岡崎市	バス路線確保対策費補助 生活交通路線を運行維持するための乗合バス事業者に対する補助 補助対象 15路線	継続実施	継続実施
	岡崎市	病院バス路線確保対策費補助 岡崎市民病院及び中央総合公園への路線を運行維持するための乗合バス事業者に対する補助 補助対象 3路線	継続実施	継続実施
	岡崎市	巡回バス運行補助 額田地域の交通空白地域解消のためのバス運行に対する補助 補助対象 1路線	継続実施	継続実施
岡崎市	バス利用促進等対策事業費補助 公共交通機関としてのバスの利用を促進するため、高齢者や身体障害者等に対応したノンステップバスの導入に対する補助 補助実績 大型ノンステップバス 7台 小型ノンステップバス 3台	継続実施 補助対象: 大型ノンステップバス 5台		

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
乗合バス事業者 などへの補助	春日井市	民間バス事業者に対しノンステップバス導入への補助を実施 平成18年度までの実績 ノンステップバス3台への補助	継続実施 ノンステップバス5台への補助	継続実施
	豊田市	乗合バス運行費補助金 乗合バス事業に要する経費の補助を行い、バス路線を維持・存続させることにより交通手段の維持と公共交通の利用を促進する。 市内6系統の乗合バスの欠損を補助	継続実施(名鉄バスの市内7系統へ補助) ・豊田西市内線(豊田市~聖心寮前) ・豊田北市内線(豊田市~こども発達センター) ・上郷線(三河上郷駅~福岡町) ・豊田下山線(豊田市~大沼) ・豊田渋谷線(豊田市~東山町) ・藤岡線(豊田市~西中山~木瀬) ・大沼線(大沼~東岡崎)	継続実施 豊田市公共交通基本計画に基づき、公共交通ネットワークを整備していく。
	豊田市	豊田市生活交通運行費補助金 (さなげ足助バス運行費補助金、広域連絡バス運行費事業を統合) 日常生活に必要な交通手段を確保し、交通空白地の解消を図る。 バスの欠損額を補助 地域主体の地域バス等確保の取組みへの支援	継続実施 ・高岡ふれあいバス ・中心市街地玄関口バス ・松平ともえ号 ・さなげ足助バス ・小原バス ・旭バス ・平井バス(新規運行) ・保見地域バス(新規運行) ・水源東バス(新規運行)	継続実施 豊田市公共交通基本計画に基づき、公共交通ネットワークを整備していくとともに、地域主体の活動を支援していく。
	豊田市	福祉バス運行費補助金 高齢者等の移動を支援し、福祉の増進を図る。(旧市内6路線) バスの欠損額を補助 2路線において、電話予約(デマンド)運行を実施するとともに利用対象年齢制限を除外	継続実施 (より効率のかつ利用促進につながる運行形態等を地域と協議検討)	継続実施 豊田市公共交通基本計画に基づき、公共交通ネットワークを整備していくとともに、地域主体の活動を支援していく。
	豊田市		基幹バス運行費補助金 基幹バスの運行事業者に対し、運行経費の一部を補助し、豊田市公共交通基本計画に定める必要なサービスを確保し、基幹バスネットワークを整備する。 運行経費の補助 新設:1路線、増便:4路線、再編:2路線	継続実施 豊田市公共交通基本計画に基づき、公共交通ネットワークを整備していく。
	豊川市	豊川市バス運行費補助金交付事業 地域住民の生活上必要なバス路線の運行の維持を図り、公共交通の利用を促進するため、4路線の運行に対してバスの欠損額を補助(平成18年度は3路線に変更)	継続実施	継続実施
	安城市	名鉄バスへの補助 1路線(平成16年度より) ・路線存続のため赤字路線に対して補助	継続実施	継続実施

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
乗合バス事業者 などへの補助	常滑市	常滑南部線(乗合バス)への補助 (生活路線の確保)	継続実施	継続実施
	新城市	乗合バス事業者に対する補助 地域住民の生活に必要な乗合バス路線と維持、確保する ため欠損額を補助する。 平成18年度実績 17,719千円	継続実施	継続実施
	知多市	市内の3路線の運行に対して欠損分を補助 平成18年度 補助額 27,407,000円	継続実施	継続実施
	阿久比町	知多乗合(株)に年間144万円の補助 区間:阿久比駅~宮津団地 延長2km 阿久比駅~スポーツ医学研究所 延長1km 路線バス廃止に伴い18年度で終了		
	南知多町	乗合バス事業者などへの補助 地域住民の生活上必要なバス路線の維持確保を図るため、 乗合バス事業者などへの補助を実施する。西海岸線(内海 ~師崎港 13.8km)を契約バス路線として存続を図る。 平成18年度補助実績 9,350千円	継続実施 乗合バス事業者への補助 事業内容 平成18年度と同じ 平成19年度補助予定額 9,350千円	平成20年度以降は未定
交通結節点の改 善	名古屋市	駅前広場の整備 八田駅などの駅前広場の整備		
	岡崎市	駅前広場基本計画策定調査業務 駅前広場基本計画策定業務 駅前広場基本設計作成業務 駅前広場実施設計作成業務 (JR岡崎駅東口) 自由通路延伸工事(H18,H19工事)	自由通路延伸工事(H18,H19工事) 駅前広場整備工事	継続実施 駅前広場整備工事
	豊田市		可変式総合公共交通案内板の設置 豊田市駅周辺5基、三河豊田駅1基 ○みちナビとよた情報端末機の設置 豊田市駅周辺2基、三河豊田駅1基、どんぐりの湯1基 ○バス停上屋の設置 稲武地区、下山地区ほか7箇所	可変式総合公共交通案内板の設置 ○みちナビとよた情報端末機の設置 ○バス停上屋の設置 ○豊田市駅西口バス待合施設の設計
	小牧市	間内駅西広場の暫定整備 計画概要 面積3,260㎡		間内駅西広場の整備 計画概要 面積3,260㎡
	小牧市		味岡駅東広場の整備 計画概要 面積3,400㎡	
	東海市	聚楽園駅前の整備 交通広場(車寄せ等) 2,700㎡ 自転車駐車場 2,000㎡ 平成17年度供用開始		